

常磐自動車道 全線開通後の交通量及びストック効果について ～地域経済の復興に向け、観光客が増加、雇用が増加～

※ストック効果：整備された社会資本が機能することによって、継続的に中長期的に得られる効果

<交通状況>

- 開通6ヶ月の交通量は開通直後以降も堅調に推移
- 暫定2車線区間(いわき中央～岩沼)の日平均交通量は、
8,300～19,500台/日

<ストック効果>

- 福島・宮城沿岸地域の観光交流人口が震災以降最高を記録
 - ・常磐道沿線の主要観光地では、県外からの来訪者の増加もあり、観光入込客数が震災以降最高を記録
- 企業立地の増加、雇用拡大により地域経済の復興を牽引
 - ・山元～亘理間が開通した平成21年以降、企業立地数が過去最高を記録
 - ・平成26年12月以降の福島県浜通り地域の企業立地による経済効果は約550億円
 - ・新規高等学校卒業求人倍率が増加し地域の雇用確保に貢献

常磐自動車道 常磐富岡IC～浪江IC間(14.3km)が平成27年3月1日に開通し、常磐自動車道は約350km(東京～仙台)が全線開通しました。

(お問い合わせ先)

東日本高速道路(株) 東北支社 広報課(報道担当)

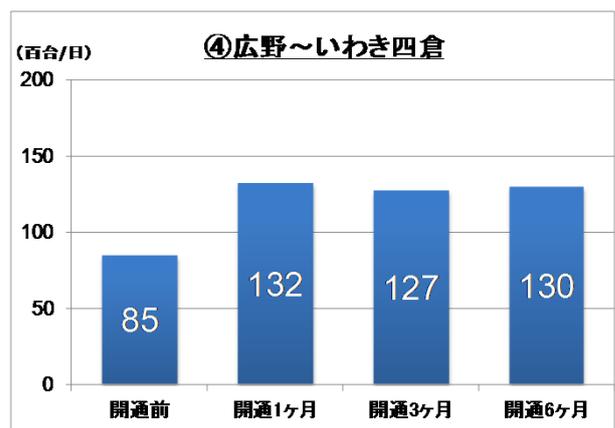
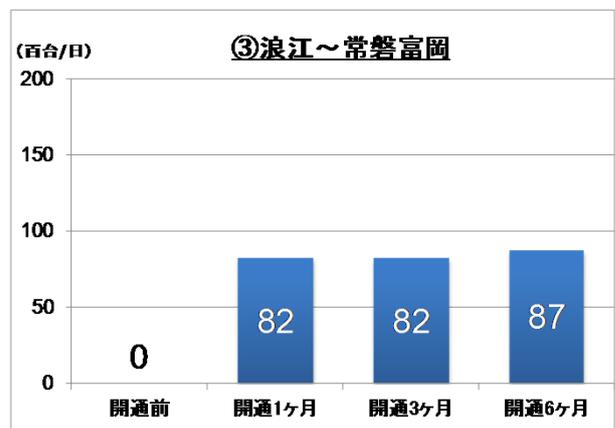
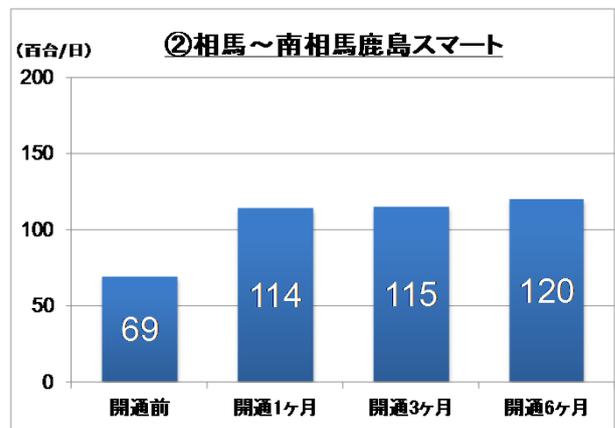
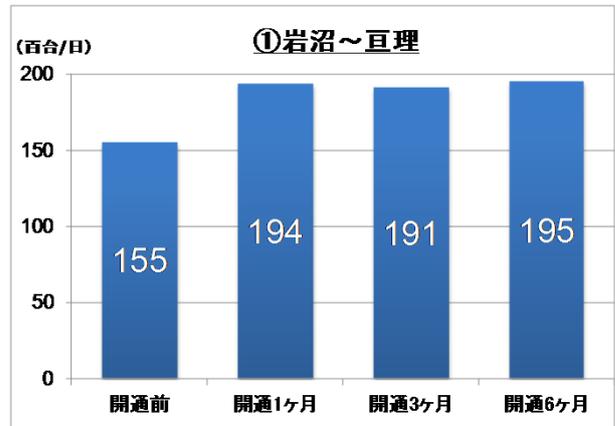
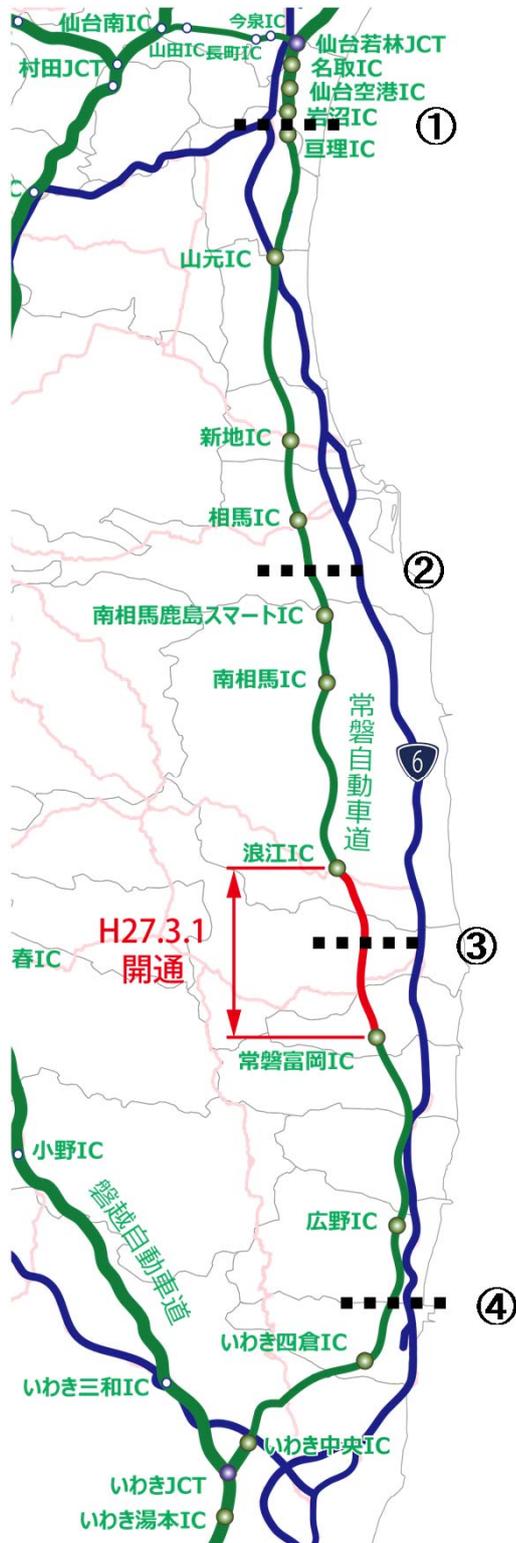
TEL. 022-217-1706

(受付時間/平日9:00～17:25)

※本資料については、国土交通省記者会、国土交通省建設専門紙記者会、国土交通省交通運輸記者会、青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、秋田県政記者会、宮城県政記者会、山形県政記者クラブ、福島県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会にお配りしています。

常磐自動車道の全線開通前後の交通状況

- 開通6ヶ月の交通量は開通直後以降も堅調に推移
- 暫定2車線区間(いわき中央～岩沼)の日平均交通量は、8,300～19,500台/日



【出典：NEXCO東日本データ】

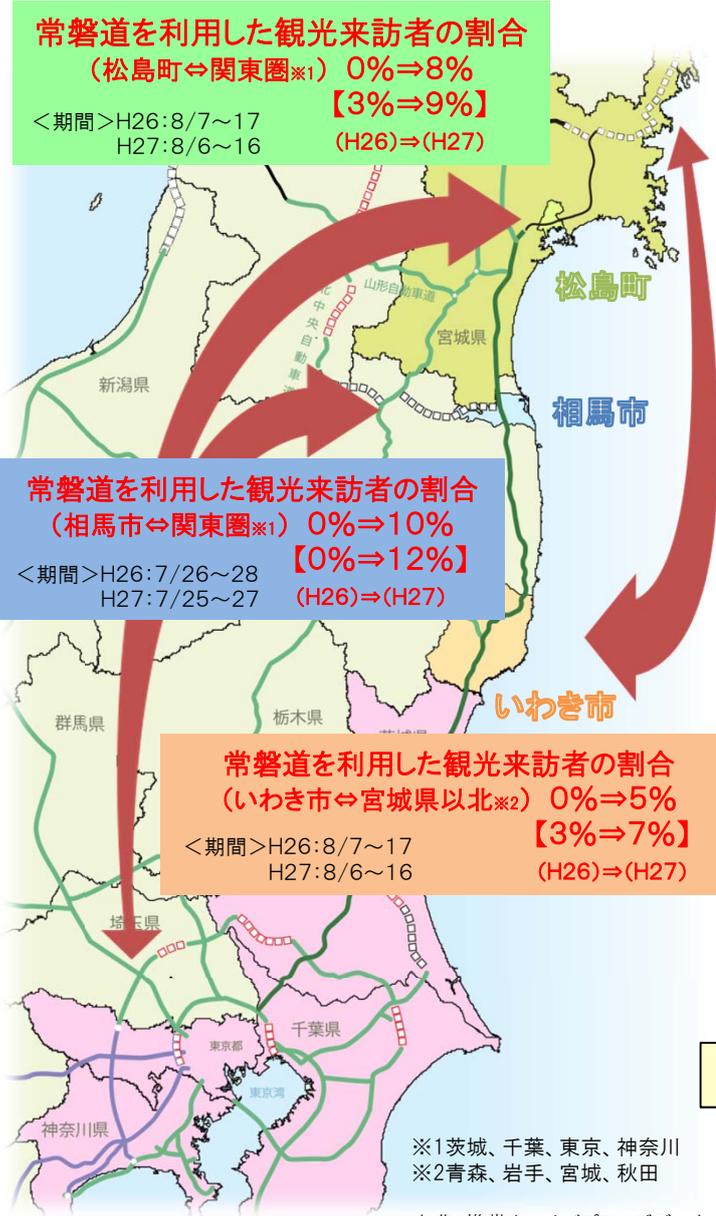
- ・開通前：平成27年2月1日(日)～2月28日(土)
- ・開通1ヶ月：平成27年3月2日(月)～4月1日(水)
- ・開通3ヶ月：平成27年3月2日(月)～6月1日(月)
- ・開通6ヶ月：平成27年3月2日(月)～9月1日(火)
- ※上記期間の日平均値

福島・宮城沿岸地域の観光交流人口が震災以降最高を記録

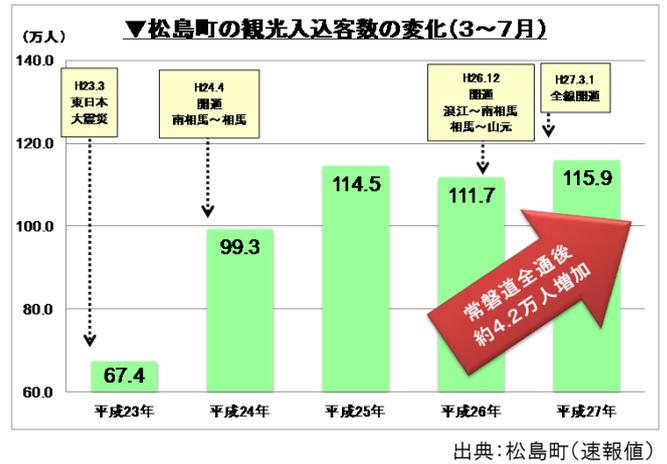
- 常磐道沿線の福島県・宮城県的主要観光地(都市)では、観光入込客数が、震災以降最高を記録
- 常磐道沿線の主要観光地では、常磐道を利用した県外からの来訪者が増加するとともに、観光消費額も25億円増加し、経済活性化に寄与

常磐道を利用した来訪者の変化

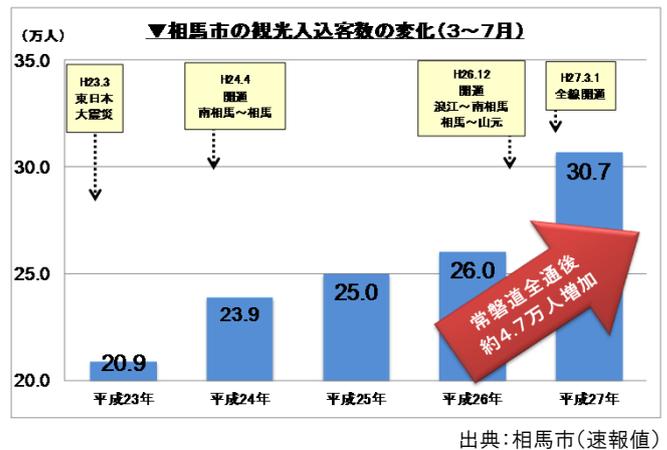
【 】: 経路を加味しない場合の割合



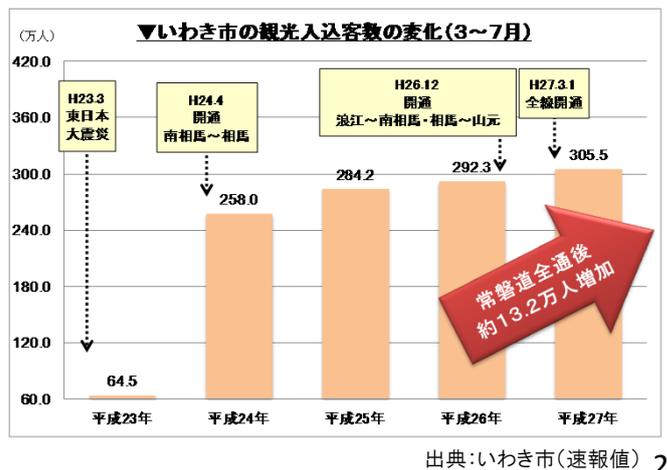
松島町の観光入込客数が4.2万人増加



相馬市の観光入込客数が4.7万人増加



いわき市の観光入込客数が13.2万人増加



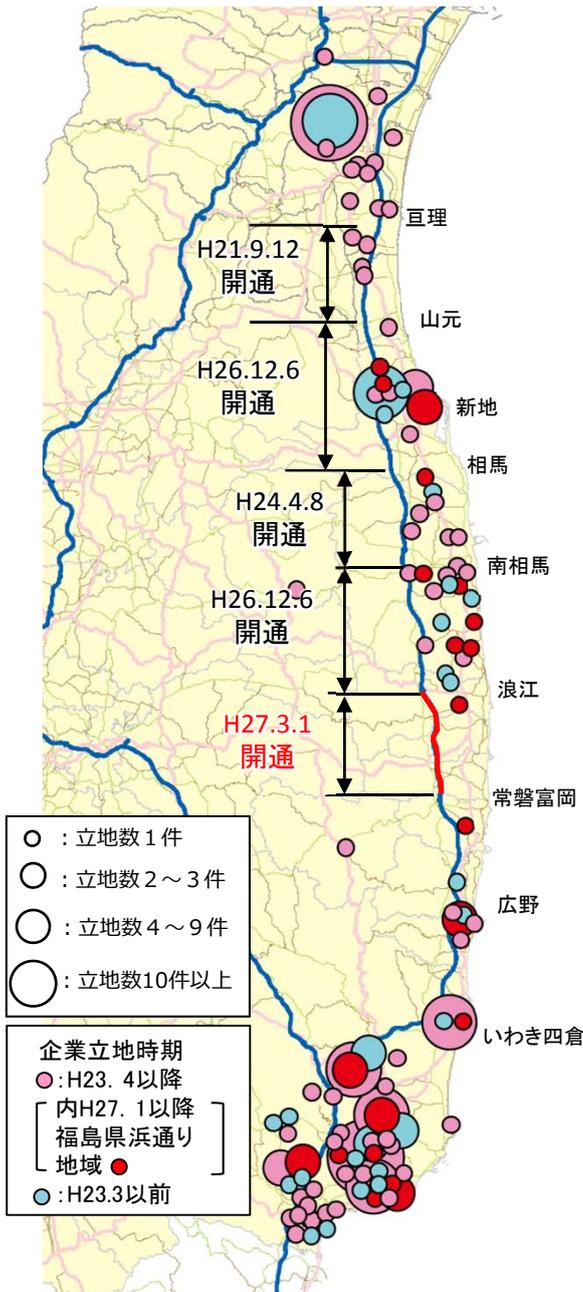
3地域の観光来場者が**約22万人増加**

入場料・食事・お土産などの
観光消費額が**約25億円増加**

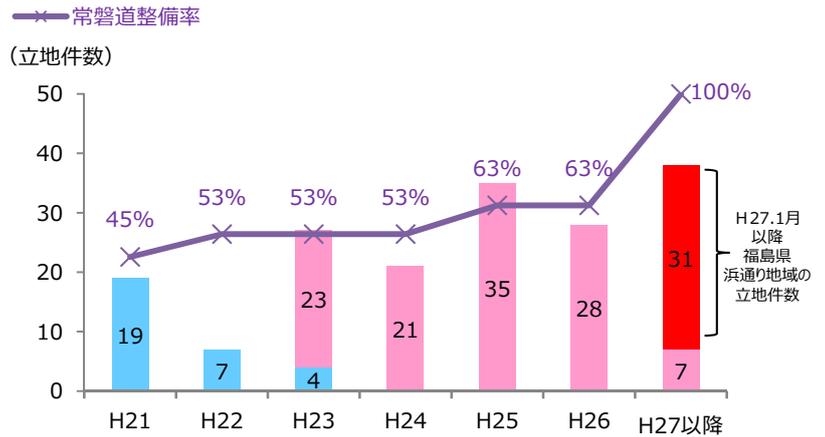
福島県浜通り地方への企業立地増加・雇用拡大

- 現時点(H27.6)で、沿岸地域の企業立地数は、過去最高を記録
- 平成27年1月以降の福島県浜通り地域の企業立地による経済効果は約550億円
- 浜通り地域における新規高等学校卒業者求人倍率は、企業立地とともに着実に増加、地域雇用確保に貢献
- 浜通り地域の企業立地が地域の経済を牽引

▼常磐道沿線地域での工場増新設の動き



▼常磐道沿線地域での工場増新設件数の推移

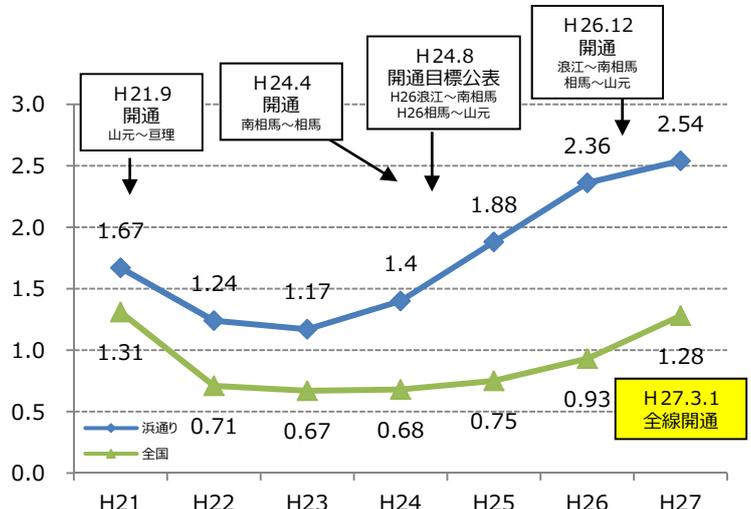


常磐道沿線地域: いわき市、南相馬市、相馬市、新地町、飯館村、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、名取市、岩沼市、亘理町、山元町
 ※常磐道整備率は、各年4月1日時点

平成27年1月以降の
 福島県浜通り地域の企業立地31件による
 経済効果は約550億円

※福島県内の立地企業(福島県調べ)の投資額(予定額も含む)を基に算出

▼浜通り地域における新規高等学校卒業者求人倍率



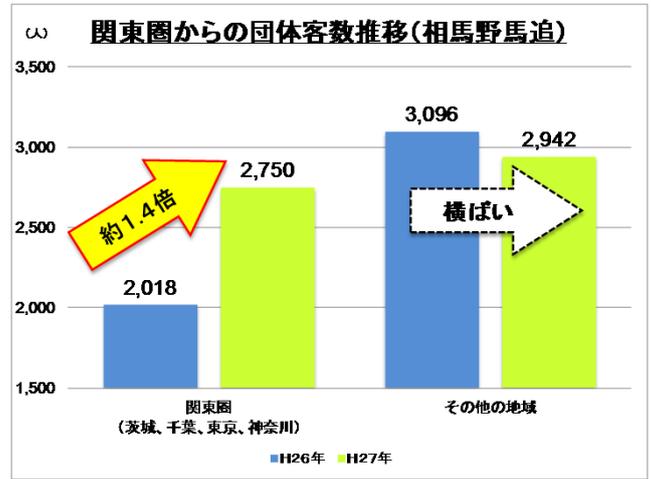
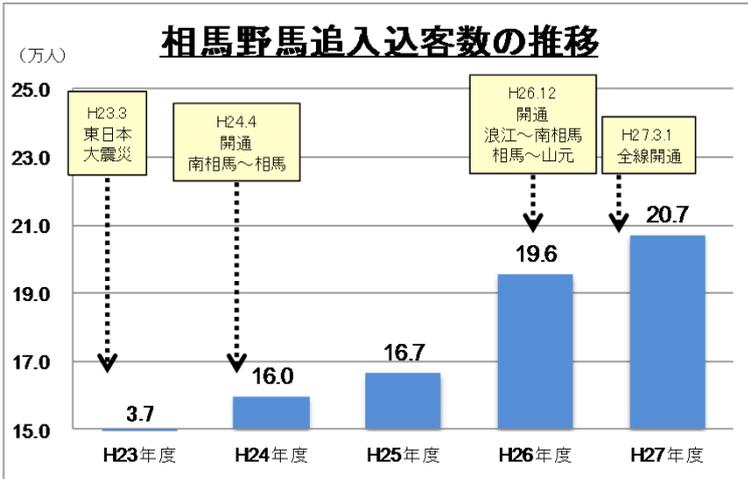
資料: 厚生労働省福島労働局・厚生労働省 ※各年6月の値

浜通り地域: いわき市、南相馬市、相馬市、新地町、飯館村、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村

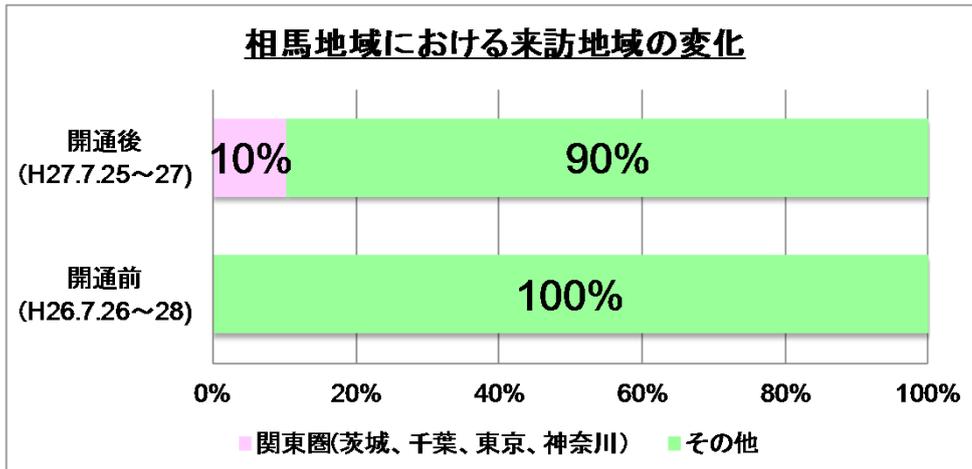
地域伝統文化の活性化に寄与

- 相馬地域で行われている相馬野馬追では、震災以降はじめて観光入込客数が20万人を突破
- 関東圏※からの団体客が大幅に増加(約1.4倍)
- 地域伝統文化の活性化に大きく寄与

※茨城、千葉、東京、神奈川



出典: 相馬野馬追執行委員会



※常磐道利用者の割合を集計
出典: 携帯カーナビプローブデータ



■ 相馬野馬追

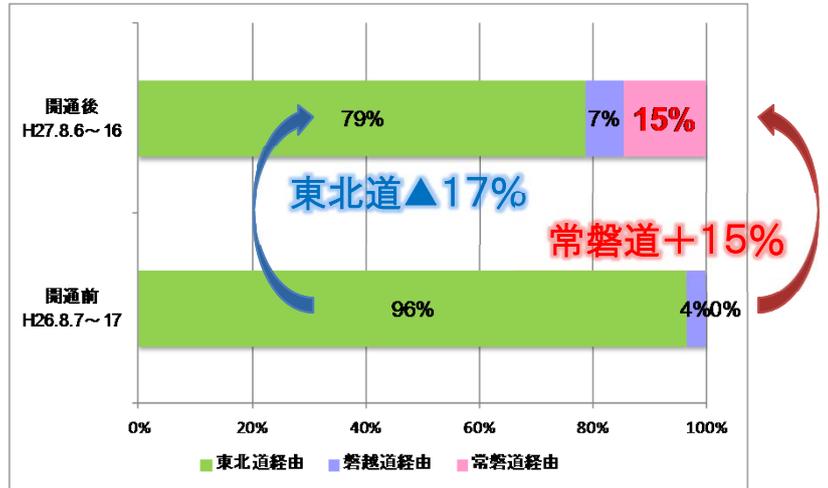
一千有余年の昔、相馬氏の祖といわれている平将門が下総国(千葉県北西部)に野馬を放ち、敵兵に見立てて軍事訓練を行ったのが始まりと伝えられ、現在では、毎年7月末の土曜日・日曜日・月曜日、甲冑に身を固めた500余騎の騎馬武者が腰に太刀、背に旗指物をつけて疾走する豪華絢爛で勇壮な戦国絵巻を繰り広げる。

混雑する東北道から常磐道へ、ダブルネットワーク機能を発揮

- 常磐道の全線開通により例年交通渋滞が著しい東北道の渋滞が減少
(昨年と比較し、福島県内の10km以上の渋滞が4回減少)
- 関東方面と仙台以北との利用が東北道から常磐道にシフト、昨年と比べ常磐道利用が15%増加
- 常磐道の全線開通は、東北道の渋滞緩和に大きく寄与し、ダブルネットワークとして機能を発揮



関東⇄東北 利用路線の変化



出典:プローブデータ

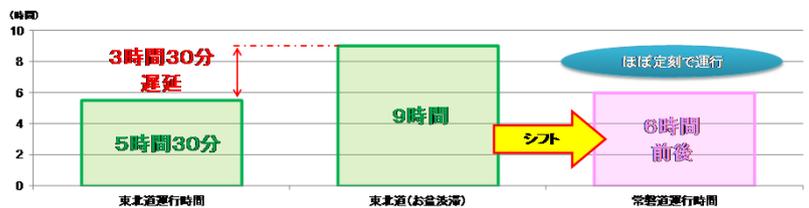
【トピックス】お盆渋滞の東北道を回避するため高速バスが常磐道を代替路として活用

- 仙台⇄東京方面を結ぶ高速バスは毎日約50往復100便、1ヶ月間に約5万人以上※を運ぶ大動脈
- 交通混雑期には東北道の渋滞に巻き込まれ、定時性を確保することが困難(最大3.5時間の遅れ)
- 常磐道が全線開通した今年、一部の便が常磐道に迂回運行を行い定時性を確保

※臨時便を除く、東京、千葉、神奈川発着を対象



定時性を確保するため24便が常磐道にシフト



■ バス事業者の声

- 常磐道が全線開通した今年のお盆は、東北道の渋滞状況を見ながら、一部の便を常磐道に迂回運行し、定時性を確保した
- 今後も、東北道の渋滞状況等を見ながら、常磐道への迂回も検討したい

常磐自動車道の交通状況

参考資料

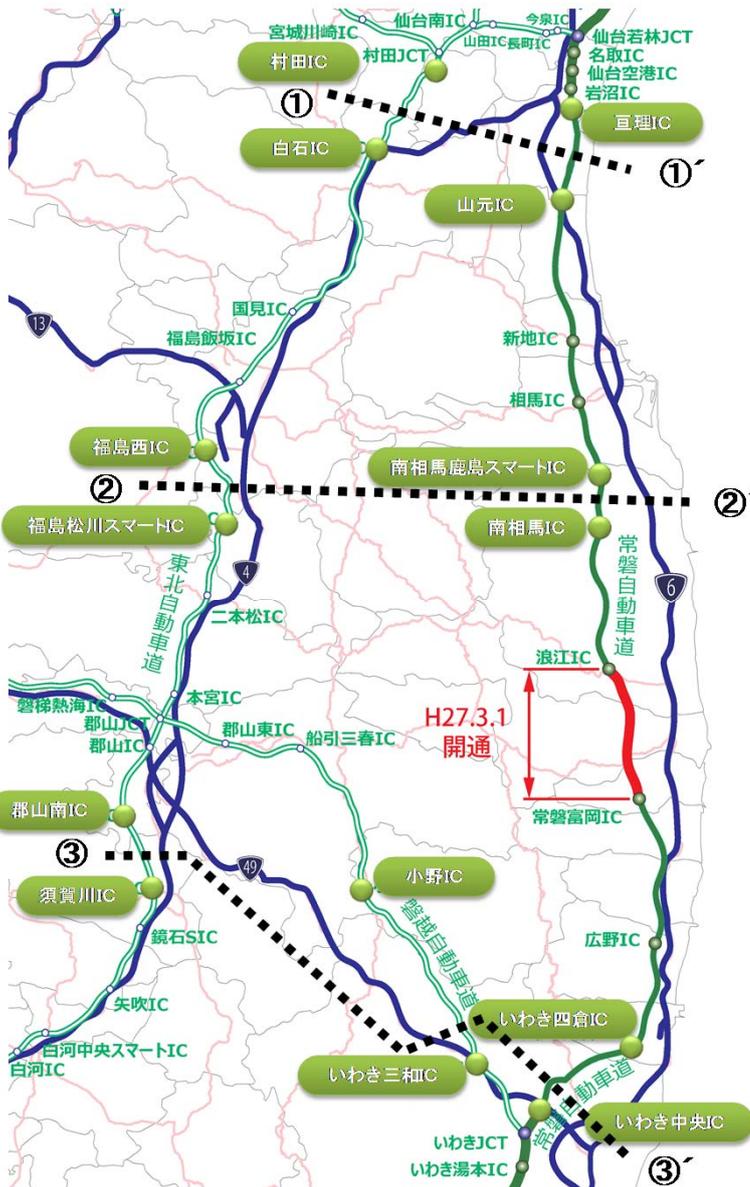
| IC間 | 【①開通前】 断面交通量 (台/日) | 【②開通1ヵ月】 断面交通量 (台/日) | 【③開通3ヵ月】 断面交通量 (台/日) | 【④開通6ヵ月】 断面交通量 (台/日) |
|---------------------------|--------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 仙台若林JCT～名取 | 28,900 | 33,500 | 32,500 | 32,600 |
| 名取～仙台空港 | 23,000 | 27,300 | 26,300 | 26,600 |
| 仙台空港～岩沼 | 19,600 | 23,600 | 22,800 | 23,100 |
| ①岩沼～亶理 | 15,500 | 19,400 | 19,100 | 19,500 |
| 亶理～山元 | 11,300 | 15,000 | 14,700 | 15,000 |
| 山元～新地 【平成26年12月6日開通】 | 7,600 | 11,400 | 11,300 | 11,800 |
| 新地～相馬 【平成26年12月6日開通】 | 6,600 | 10,600 | 10,600 | 11,100 |
| ②相馬～南相馬鹿島スマート | 6,900 | 11,400 | 11,500 | 12,000 |
| 南相馬鹿島スマート～ 南相馬 | 6,900 | 11,200 | 11,300 | 11,800 |
| 南相馬～浪江 【平成26年12月6日開通】 | 2,300 | 8,000 | 7,900 | 8,300 |
| ③浪江～常磐富岡 【平成27年3月1日開通】 | — | 8,200 | 8,200 | 8,700 |
| 常磐富岡～広野 | 4,100 | 9,400 | 9,200 | 9,500 |
| ④広野～いわき四倉 | 8,500 | 13,200 | 12,700 | 13,000 |
| いわき四倉～いわき中央 | 8,000 | 12,100 | 11,600 | 11,900 |
| いわき中央～いわきJCT | 13,600 | 17,600 | 17,200 | 17,500 |

【出典：NEXCO東日本データ】

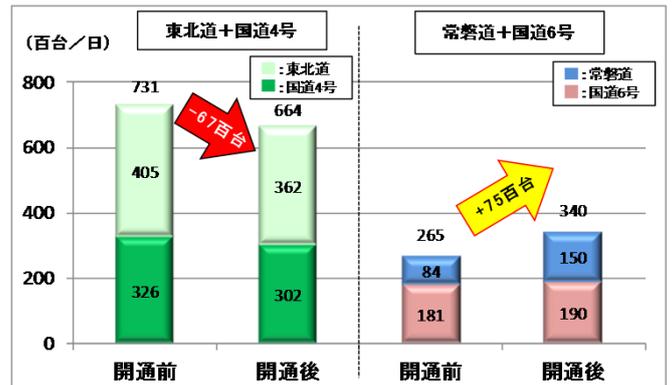
- ・開 通 前：平成27年2月1日(日)～2月28日(土)
 - ・開通1ヶ月：平成27年3月2日(月)～4月 1日(水)
 - ・開通3ヶ月：平成27年3月2日(月)～6月 1日(月)
 - ・開通6ヶ月：平成27年3月2日(月)～9月 1日(火)
- ※上記期間の日平均値

内陸部(東北道+国道4号)と沿岸部(常磐道+国道6号)の交通状況

- 内陸部(東北道+国道4号)の交通量が減少(約3~7千台)、沿岸部(常磐道+国道6号)の交通量が増加(約8~9千台)
- 特に、内陸と沿岸部の高速ネットワークの交通量に大きな変化(東北道の交通量 ⇒ 約2~5千台減少、常磐道の交通量 ⇒ 約7千台増加)

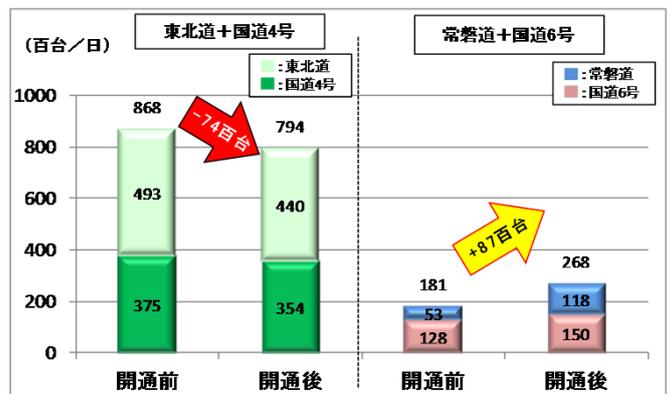


①-①' 断面



・東北道: 村田IC~白石IC間
 ・常磐道: 亘理IC~山元IC間

②-②' 断面



・東北道: 福島西IC~福島松川スマートIC間
 ・常磐道: 南相馬鹿島スマートIC~南相馬IC間

③-③' 断面



・東北道: 郡山南IC~須賀川IC間
 ・磐越道: 小野IC~いわき三和IC間
 ・常磐道: いわき四倉IC~いわき中央IC間

【出典: 国土交通省東北地方整備局、NEXCO東日本データ】

- ・開通前: 平成26年3月3日(月)~9月2日(火)の日平均値
- ・開通後: 平成27年3月2日(月)~9月1日(火)の日平均値